

学校（教育機関）での喫煙防止授業／防煙授業、等引き受けます

くまもと禁煙推進フォーラムは、科学的なデータに基づいたタバコ情報の提供、未成年者の喫煙防止等を目的とした社会的なボランティア活動を行っています。会員は、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教育関係者など約130名で構成されています。

未成年者の喫煙問題は、教育の現場において重要課題の一つです。未成年者の喫煙は、非行やドラッグ依存にもつながる問題ばかりでなく、将来の子どもの健康を蝕む大きな問題です。成人になった喫煙者に聞くと、12歳で30%、15歳で70%、18歳で90%が喫煙を開始していたと報告されています。子どもたちは一般に考えられているより、ずっと若い時期から喫煙を始め、ニコチン依存になり、タバコをやめられなくなっているという実態があります（小5～中3喫煙経験7.4% 平成23年6月23日熊本日日新聞）。

将来を担う若者たちに、タバコに対する正しい知識を教え、自律する力を養ってもらう必要があります。一方、「タバコと健康」についての授業を行うためには、専門的な知識も必要です。

私たちは、学校や専門学校・大学などの教育機関における喫煙防止授業／防煙授業をお引き受け致します。防煙授業は、できるだけ早い時期（小学校時期）から開始し、3年に一度程度は聞くようにした方がよいと考えています。どうぞ私たちの組織をお気軽にご利用ください。 2011年7月



くまもと
禁煙推進
フォーラム

くまもと禁煙推進フォーラム代表
熊本市民病院診療部長・神経内科部長
橋本洋一郎

<http://square.umin.ac.jp/nosmoke/>

【一般的な質問】

1. 講師はどんな人ですか。
熊本県内各所の、医師、薬剤師、看護師です。2011年時点で約30名おります。
2. 授業の内容はどんなことをされますか。
タバコの害、ニコチン依存、タバコの実験、タバコを断るロールプレイが主な内容です。
時間は、授業の単位時間に合わせて行ないます。
3. 薬物依存防止の授業と合わせてできますか。
通常行う内容より、タバコについてお話しをする時間は少なくなりますが可能です。
4. 授業には何が必要ですか。
パワーポイントの入ったパソコン、プロジェクター、できればカーテンのある部屋があれば十分です。
アンケートを授業の前後でお願いしています。お見せするスライドや実験道具はこちらから持参致します。
5. 謝礼はどのくらい必要ですか。
学校予算の範囲で十分です。予算がない場合でも、どうぞ遠慮なくご相談ください。
6. PTA総会や教師だけの会合でも依頼していいですか。
PTA関係の方、学校の先生方のためのタバコと禁煙についての講演も承ります。

防煙授業依頼／連絡先

くまもと禁煙推進フォーラム・学校防煙授業部会 高濱 寛

良寛堂薬局（〒869-0502 宇城市松橋町松橋 194-1）

電話：0964-32-0398 ファックス：0964-46-1440 メール：ryoukan@d2.dion.ne.jp